第1様式(1/3)

	一級自動車工学科	^[1]	2023年度		授業	計画		
時期	3年A巡	単元	実習	教科名		工化	乍	
科目	工作作業	教科書等			発行日		2023年4月1日	
総時限	13時限	持参品			教科担 当	谷森 小林	晋 和樹	• •

1. 指導教員の実務経験

目動車販売会社で様々な工作機器の使用方法について実務経験がある教員にて、ハンタこて作業のボイントや作業時の注意 事項

について指導する。

- 2. 教科の目的(この学科の狙い、目的を明確に記入)
- 1. 販売会社で求められる基本的技術を身につけさせる
- 2. すぐに現場でも通用する技術力まで習得させる。

	1 1117				
-	***************************************	D到達目標	/ I T - L T ID / 22 1	T-011 L	- I-L L \
	****		【 A T L AZ T T T T T A L	미까끔뽀스고	$\Delta L T \Delta (L T)$

・ハンダこてを使ったハンダ付け作業に対する知識、技術を習得するともに高いレベルで使える。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

・実習履修試験での得点評価

70点以上で合格

80点以上:「優」 70点以上:「良」 70点未満:「未」

再試験合格の場合得点に関わらず:「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可.

出題試験項目

- ① 作品制作にて完成度を評価
- 2
- 3

※▲⇒宝務経験があろ教員	
	븍

一級自動車工学科

2023年度 授業計画

	//X CJ 3/.	」半工于	<u></u>	2023	·十/又 	1又未可凹		
時期	3年A巡	単元	実習	教科名			工作	
5.	授業概要(時限	えごとの主	な授業内容)				6. 教科書、資料、備	品類
時限			主な授業区	内容			資料、備品類	数量
1	実習場、機材準備	睛、授業概	悪説明				ハンダごてキット一式	人数分
							こて台	人数分
2	作業説明、課題化	F成					パーツトレー(丸型・青と黒)	人数分
							作業マット	人数分
3	ハンダ付け作業①	配線 2 7	本のはんだ付け				□ 収煙機(各班×1機)	班×1
							タップ式延長コード	班×1
4	ハンダ付け作業①	こて先 5	種類を使用し作	業			教育用DVD	1
							書籍「はんだ付け作業」	1
5	ハンダ付け作業①	熱収縮	チューブの使用方法	去			直径0.75㎜コード (青)	1巻
							直径0.75㎜コード (黄)	1巻
6	ハンダ付け作業②	正12页	面体の作成				直径0.75㎜コード (赤)	1巻
							直径0.75㎜コード (黒)	1巻
7	ハンダ付け作業②	正12页	面体の作成				熱収縮チューブ (穴径1.5mm	
							熱収縮チューブ (穴径2.5mm	10
8	課題作成 テスター	-補助ツ-	-JU1·2·3·4·	⑤作成				
9	課題作成 テスター	-補助ツ-	-U1·2·3·4·	⑤作成				
		I Nel .		o. // . N			【購入資材】	1 144 43
10	課題作成 テスター	ー補助ツー	-1/1)•(2)•(3)•(4)•	5)作成			簡易オシロスコープ	人数分
			- 211-12				シガーライターソケット	人数分
11	課題作成 簡易7	「シロス」ー	-ノ作成				アースクリップ	人数分
12	== 15/5 25 15	L> 077					差し込みジャック (黒/メス)	人数×5
12	課題作成 簡易2		- ノ作成				差し込みジャック (赤/メス)	-
12	課題作成 簡易2	トシ、ロフコ					差し込みジャック (青/オス) 差し込みジャック (青/メス)	
13		ノロ人コー	⁻ ノŢFIJX				左し込みシャック (育/メ人) マチ針 (長さ5cm程度)	人数为 人数×2
	אהו עו						コネクターマイナス端子2種類	
							熱収縮チューブ (穴径3.0mm	
							100円ライター	15
							鉛フリーハンダ	1巻
								1
							1	
							+	
							プラスドライバ(小)	各自1
	•							

	一級自動車工		2023	授業	計画					
時期	<u>∭</u> (A	単元	実習	教科名		工作				
7.	フ. 安全(KYのため必ず授業内で説明)									
番号作業名			ì	遵守事項		災害事例	チェック			
1	ハンダ付け作業		・ハンダごてを使用す 注意すること ・ハンダ付けした母が 注意すること	する際は、火傷に材も高温になるので		・ハンダ付け作業が終わった直後の 母材を触り、火傷をした。				
2	ハンダ付け作業		・ハンダ付け作業を	するときは、煙を		・ハンダ付けの際の煙を吸い込み				
			吸い込まないよう ・吸煙機を用意し作	に、換気をしっかりする 使用する。	3.	体調が悪くなった。				
3	ハンダ付け作業		・ハンダごてのコード 注意すること。・休み時間は、コー	での取り回しに		・ハンダごてのコードに他の学生の足が引っ掛かり、火傷を負った。				
8. ‡	8. 授業レイアウト(写真の貼り付けも可)									
実習場						座学教室				